

酒とパソコンと少々ミルク

規模拡大は計画的に

成光 昭男

生産技術に特に問題なし、生活も質素で問題ない。農作物の価格が低迷している訳でもなく、経営資材が高騰している訳でもない。それでも、決算書を見ると赤字、資金繰りも悪く、借り入れが増加してしまうことがあります。

経営作目の転換や規模拡大などの経営転換期に時折見られます。

育成牛を導入して搾乳できまでには数か月を要します。その間も飼料費を始め様々な費用が発生します。経理上、育成費の控除は行いますが、実際に支出する費用はそれを上回っています。数頭の導入であれば大きな影響はないのですが、規模拡大に伴い数十頭を導入するとかなりの経費を必要としますとくに、肉用牛の繁殖経営では子牛の売り上げまで2年近くの期間が必要となりますので、いくら成績が良くても資金繰りに窮することがあります。

作目の転換や規模拡大のように経営を大きく転換する場合は、経営が安定するまでの間の資金繰りを慎重に計画することをお勧めします。

資金繰り計画表を作成することにより、どの時期にどれだけの資金が必要になるかが分かり

やすくなりますので、事前に対策を講じることができます。

下の表は、経営安定期の資金繰り計画の例です。分かりやすくするために、科目をかなり省略しています。簿記で実際に使用している科目で整理すると良いでしょう。

現金預金残高は、期首3,000千円、期末3,000千円変わらず、借入金残高は、期首10,000千円、期末7,600千円の順調な経営です。

それでも、5月、6月には資金が不足してしまいそうです。

順調な経営であっても、投資を伴う経営の転換期には、数年間にわたり、高額の資金が不足してしまうこともありますので、資金繰り計画も数年にわたるものを作成する必要があります。資金が不足する場合は、借入金等で資金繰りを図ることになりますが、支払利息が発生して経営を圧迫してしまいますことでもありますので、慎重な計画が求められます。

比較的無理なく、新たな投資を行うためには、5月号で紹介した自己資本比率20%がひとつの目安になります。

資金繰り計画(対策前)例

		2016年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月初現金預金残高		3,000	2,500	2,450	2,300	2,100	▲ 600	▲ 50	970	1,400	2,400	2,500	2,800
月初借入金残高		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600	7,600
調 達	借入金 短期												
	借入金 長期								600				
	農業収入 乳代	2,400	2,400	2,500	2,600	2,900	3,400	3,400	3,530	3,500	3,000	3,000	2,800
	子牛		500					500		500			
	その他	200	200	200	200	200	200	200	200	300	300	300	300
	各種補助金												
	農外収入												
その他収入													
収入 計		2,600	3,100	2,700	2,800	3,100	3,600	4,100	4,330	4,300	3,300	3,300	3,100
運 用	農業経費の支払 現金支払い	800	850	750	800	700	750	680	700	800	700	700	700
	現金支払 買掛金支払い	2,000	2,000	1,800	1,900	1,800	2,000	2,100	2,300	2,200	2,200	2,000	1,800
	買掛支払など												
	借入金返済 短期												
	借入金返済 長期					3,000							
	資産の購入 機械・施設									600			
牛													
家計費	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	400
支出 計		3,100	3,150	2,850	3,000	5,800	3,050	3,080	3,900	3,300	3,200	3,000	2,900
月末現金預金残高		2,500	2,450	2,300	2,100	▲ 600	▲ 50	970	1,400	2,400	2,500	2,800	3,000
月末借入金残高		10,000	10,000	10,000	10,000	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600